

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 27 年度 第 1 回米原市環境審議会
開 催 日 時	平成 28 年 3 月 15 日（火） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
開 催 場 所	米原市役所米原庁舎 会議室 2 A
出席者および 欠席者	出席者：青山誠司委員、伊藤和典委員、伊夫伎博夫委員、澤田慶成委員、 嶋野美知子委員、須藤明子委員（副会長）、竹内健二委員、中野桂 委員、中村幸雄委員、仁連孝昭委員（会長）、藤田知丈委員 事務局：藤本経済環境部長、奥村課長、松居課長補佐、山田主幹、中寫主 任、鎌田主事（環境保全課） 傍聴者：0 人 欠席者：北村剛委員、中川修委員、野一色順子委員、皆川明子委員
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 次米原市環境基本計画改訂版について</li> <li>・ 第 2 次米原市環境基本計画の策定方針について</li> <li>・ 平成 26（2014）年度版米原市環境報告書について</li> <li>・ 米原市役所地球温暖化対策の平成27（2015）年の取組結果について</li> </ul>
結 論 （決定した方 針、残された 問題点、保留 事項等を記載 する。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 第 1 次米原市環境基本計画改訂版が承認された。</li> <li>➢ 第 2 次米原市環境基本計画の策定方針について、委員の意見を盛り込 み、継続して審議することとなった。</li> <li>➢ 平成26（2014）年度版米原市環境報告書について、水環境に関する分 析結果を追記修正することとなった。</li> <li>➢ 米原市役所地球温暖化対策の平成27（2015）年の取組結果について、 分析を深めることなどが指摘された。</li> </ul>
事務局  会長	<p>1 開会（事務局から開会あいさつ）</p> <p>2 議事</p> <p>（1）第 1 次米原市環境基本計画改訂版について</p> <p>（2）第 2 次米原市環境基本計画の策定方針について</p> <p><b>【事務局から概要説明】</b></p> <p>前回の会議から期間が経過しているのもう皆さん覚えていないかもし れませんが、環境基本計画を全面改定するという事で検討してきました が、事務局の説明にあったとおり予算がつかず、最低限の改定となりま した。</p> <p>そのなかでも大きく変わったのは組織の部分で、組織の推進体制につい ては大きく変わりました。市民会議でチェックしていく体制が実質機能し ていなかったためこれを外すことになり、代わりに審議会で協議すること</p>

<p>会長</p>	<p>となりました。その他は事実即した修正になっています。この体制について、何か意見はありませんか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>特にないようですので、(1)第1次米原市環境基本計画改訂版については、事務局案で承認とさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>第2次計画について、この環境基本計画はかなりしっかりしたものになっています。私は生活に関することに関心を持ち、意見を述べたいと思って審議会に参加していますが、この計画はすべてを網羅したような大きな計画になっています。20年前に大阪から米原に来ましたが、ここにはたくさん自然があり、今後も滋賀に居続けたいと思っていますが、都会に比べて、環境で一番身近なところが見落とされているように思います。米原は車社会ですが、都会では電車や自転車通勤で歩くことが多く、どこかに出かける時もゴミがあればすぐに目に入ります(車社会なので目につきにくいのだと思います)。米原は自然も多いですが、都会よりゴミも多いと感じられます。定年後、マンション管理組合の理事として日ごろ2～3時間マンション周辺のゴミ拾いをしていますが、小中学校の通学路にいろいろなゴミが落ちているのを、皆普通に見過ごしておられる。これは子どもだけでなく先生も同じで、ゴミを見過ごしていて関心がありません。ドラッグストアやコンビニの周辺にもレジ袋やペットボトルが落ちており、コンビニの店長には清掃したら良いということを何回か話しましたが、ほとんどされません。身近な暮らしで何をきれいにするかということが抜けているように思います。次期計画には、水、空気、道路、3つくらいの大きなところを盛り込んでいただけたらと思います。</p>
<p>会長 会長</p>	<p>今ご指摘のことは、大事な視点なので、次期計画に反映してください。</p> <p>身近な環境ということでいえば、山が荒れてきています。昨年皆で霊仙山に行きましたが、大分以前と違う段階にきています。米原は水源の里ということではありますが、山をどうしたら以前の状態に戻せるか、一つの領域としてとりあげてはどうか。従来とは大分違うレベルになってきている気がしています。</p>
<p>副会長</p>	<p>いま会長がおっしゃったことを含め、あらかじめ総合計画のなかに入っている内容でないと、総合計画の内容とそぐわないということで環境基本計画に盛り込めなくなることをワーキング会議でも危惧していましたが、そのあたりはどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>総合計画の担当部局である政策推進課と連絡を取り合い、総合計画の中身について意見を出すことになっておりまして、そこで調整していきたい</p>

<p>副会長</p>	<p>と考えています。</p> <p>資料3を見て、そんなに制限なく反映できると事務局が考えているということと理解しました。</p> <p>鳥獣、林野、農業の部局も関連することと思いますが、山という大きな柱があってよいと思いますし、また地域振興という観点、環境と地域経済の結びつき、あるいは環境教育ということも、計画に反映できるといいのではないかと。また、個別具体の事業に落とし込むことを考えた計画になるといいのではないかと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>現計画の16ページでは「ひと」という分野をとりあげて環境教育について記載していますが、次期計画にも盛り込んでいきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>民間企業であればトップがさっと決められますが、行政の体制では難しいところがあると思います。たとえば承水溝、あれは川に見えますがそうではなく、ポンプが稼働しており、その際にゴミを巻き上げているそうです。入江干拓土地改良区の職員数人に話を聞いてきましたが、土地改良区は600人位の農家で形成されておられます。承水溝については周辺住民で大規模に川ざらいをしてもいいと思いますが、行政の補助を含め、予算が決まっているということでした。こうしたことを大きく変えるのは市長が決めるしか無いと思いますが、たとえば今年のうちはやめてそちらに使うというような仕組みがないと、新しいことに取り組めないのではないかと。</p>
<p>事務局</p>	<p>予算については、横連携事業ということで積極的に効率的な運用に取り組んでおりまして、他の部局で実施している環境と関連している事業について、完璧にとはいかないが、やっていきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>根本的に環境を良くしていこうと思うと、産業、福祉と結びつかないといけないと思います。中山間地域の活性化であったり6次産業であったりということを含め、すべてのことに結びつけないといけなくて、総合計画についても環境分野として限定された範囲に矮小化してはいけないと思います。実際どう落とし込むかは難しい部分があると思いますが、たとえば庁舎が新しくなる際には地域木材を使うとか、木質バイオマスによる暖房設備を導入するとか、そういうことを全体的にしていくしかけが要る。ゴミの問題でも一方で捨てて一方で拾う状況ではなく、米原の基本理念として、環境を大切にするとされる滋賀県のなかでも特に環境に配慮する市民性、それをアイデンティティとするようなことを含め、環境マインドを育てるしくみ、もの、ひとづくりを提案していく必要があります。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後環境基本計画の策定に当たっては、そのあたりご指導いただければと思います。</p> <p>建築物のことにつきましては、米原市公共建築物等における地域産木材</p>

委員	<p>の利用方針などが策定されていますので、地域産木材の利用、また省エネのことなど、反映されることとなっています。</p> <p>省エネに限らず、たとえば木質バイオマス暖房など、とりいれていただけたらと思います。</p>
会長	<p>いま言われたことにつきまして、現在東近江市でも環境基本計画の改定作業中であり、そこでは経済社会と環境の関係に基づき、経済につながる取組を計画されています。たとえば、現状ではエネルギーはほとんど化石燃料に頼っているわけですが、約 50 億が市外に流出しているので、そのエネルギーを地域産に転換していく。あるいは経済だけでなく、環境が福祉につながる視点を設けられています。そういう考え方を、米原でも取り入れていただきたいと思います。</p>
委員	<p>先ほど委員が言われていましたが、相当のゴミが琵琶湖に流入しています。週刊誌の記事ですが、発砲スチロールが海などで粉々に砕け、粒子になって存在していて、もう手遅れになっているという記事がありました。近畿の水がめである琵琶湖があるまちとして、もう少し神経質になってもいいのではないかと。</p> <p>また、大腸菌群の数値がすごいことになっています。環境の監視測定が実施されてはいますが、今は実際には効果的な事業になっていません。</p> <p>会長が言われた山の環境は、大変なことになっています。川、山、多方面から経年変化を見る方法がとればよいのではないかと。一般の方が山に行ってみても、なかなか変化しているかどうか分かりません。数値として出すやり方が必要なのだと思います。小さい団体では限界がありますが、総括的に取り組むグループができて、方策をとりまとめられたらと思います。今の計画では、どこまで実施されているのかが分かりません。そのような取組をする団体を育てていく、レベルアップさせていくことについて、自分もできるだけ協力しますので考えていただきたいと思います。</p>
会長	<p>一部の場所だけではなく、いつも誰でも市民がモニタリングをし、それをフィードバックするしくみをつくるには、人づくりが大事であろうし、活動をできる条件を整備していくことが大事です。今までの取組だけでは非常に厳しい状況にあり、レベルアップしていく取組が大事です。これからの時代、行政も人的、資金的に厳しくなっていくので、すべてを行政がかぶってできるものではありません。また、行政では、各セクションでやるのではなく、相乗効果をもつような、総合計画、計画が非常に大切になってくると思います。</p>
委員	<p>というのも、山から湖にかけて上空から撮影することを行政に提案しましたが、予算上できないということで、こちらで 12 月 20 日にモーターグ</p>

	<p>ライダーで動画を撮影したところ、藻の流れる状況まで非常によく見えました。間近で見るのとは異なる視点から、全体的に見ることができるというのではないかと。</p>
<p>会長</p>	<p>ドローンであれば比較的安価ですが、難しいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>ドローンは撮影時間が17～8分で、全体を撮影するにはまだ難しいです。</p>
<p>委員</p>	<p>ドローンは、人から見える範囲で飛ばさないといけないなど、限定的にしか使えません。いまほど言われたような撮影などの事業は、やっていただけるとよいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>山、川を守ろうとしていくときに、行政の予算がどうなっているかといいますと、私は議会の広報など関心があつてよく見っていますが、米原市の予算は約200億で、環境の予算は大変少ない。何かをなくすということをししないと、新しいことを実施するのは難しいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ぜひ実現されることを期待しています。</p>
<p>事務局</p>	<p>3 報告事項  (1) 平成26(2014)年度版米原市環境報告書について  (2) 米原市役所地球温暖化対策の平成27(2015)年の取組結果について  【事務局から概要説明】</p>
<p>委員</p>	<p>農業排水は、測定していないのですか。というのも、天野川に泥がたまっていることや水質悪化について、農業排水からきている水が原因となっている可能性があるのでは、調べてもらったほうがいいのではないかと考えています。</p> <p>また、印刷量についてですが、チラシの量が相変わらず多い。これをもっとシビアにすれば、だいぶ減らせるのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>環境教育については、先に委員も言われましたが、学校の周りがゴミだらけでも、知らん顔をしているところがあります。まずは、先生がやらないといけない。学校、地域が一緒になって、やっていく必要があります。アルミ缶の回収などもされていますが、一生懸命にやっているといえないように思います。目的意識をもってやっていく必要があります。</p> <p>水質に関する報告について、序文はありますが、結論がありません。13か所の9年分のデータがあるということで、環境基準も書かれていますが、およそこの基準内に入っています。そういうことが、たとえばグラフで基準線があつて推移が示されているなど、一目で分かるようになっているとよいと思います。また、結論として、現状維持で来ているというようなことを一行書いてあるといいのではないかと。</p>

<p>事務局 副会長</p>	<p>そのように修正したいと思います。</p> <p>ワーキング会議で出た意見が大分反映され、また書きにくいことも書かれており、今後もこういう姿勢が大事だと思います。また、動向を見るだけではだめで、たとえば大腸菌群が高い数値となっていることについて、およその原因は想像がつくと思います。対策に結びつくようなモニタリングが必要です。</p>
<p>会長</p>	<p>電気の削減については、どの事業所も進めていて、そのなかで米原市役所が増加しているというのは問題です。電気だけの項目を見ていると、どうなのかと思います。ちゃんと庁内に結果を返して、検討してもらう必要があります。</p> <p>ガソリンの減少については、エコドライブなどに取り組まれていることももちろんあると思いますが、車の性能が上がっていることによる効果も大きいのではないかと。</p> <p>LPGガスについて、空調を切り替えたことで、二酸化炭素排出量が増えたというのは分かりません。熱効率はLPGガスのほうが良いので本来なら減るはずですが、増えたというのは、灯油で暖房していなかった部屋にも暖房がついたなど、原因をきちんと分析しないと次につながらない。次につながる分析をお願いしたいと思います。</p>